

## 移動等円滑化取組報告書（鉄道駅）

（2020年度）

住 所 京都市右京区嵯峨天竜寺車道町

事業者名 嵯峨野観光鉄道株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上 敬章

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

## I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

## (1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

## ① 鉄道駅を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる鉄道駅	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
・点字ブロックの整備 ・サイネージ型案内板の設置	・無人駅のトロッコ保津峡駅に、ホームの点字ブロックを内方線の付いたものへ取替えることにより、内方線付き点字ブロックの整備を促進する。(2019年度) ・すべてのお客様への案内手段として、トロッコ嵯峨駅にサイネージ型の案内板を設置し、特に聴力障がいのお客様やインバウンドのお客様への案内の充実を図る。(2019年度～2020年度)	・トロッコ保津峡駅に内方線付き点字ブロックの整備完了(2020年2月28日) ・サイネージ型の案内板は新型コロナの影響により計画の見直し

## ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
障害者の接遇に関する民間資格を持つ職員の配置	・会社負担でユニバーサルマナー研修を複数名受講させ、総務部及び鉄道部運輸課に配置する。(2019年度)	・ユニバーサルマナー研修を3名受講し、鉄道部2名、総務部1名を配置した

## ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
無人駅における情報提供	・トロッコ保津峡駅は渓谷にある無人駅で、ホーム到着までに階段、吊り橋、階段など複数の障害があり、またトイレも跨線橋を渡り水洗ではないトイレである旨をホームページ上に告知を行う。(2019年度)	・ホームページの駅情報でトイレの情報を開示済み

## ④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
接客に関する社員を対象とした研修	・部外講師をお招きし、体の不自由なお客様のサポートを含めた接客ロールプレイングを行う研修の実施(2019年度)	・介護会社より講師をお迎えし、バリアフリー研修を実施(2020/1/10)

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

・会社内に「移動等円滑化取組プロジェクトチーム」を設置し、会社として推進体制を構築した。(2019年度)

(3) その他